

平成24年度 延岡青朋高等学校

学校関係者評価 (定時制課程)

『評価』は4段階の数値で行う。(4:十分達成されている 3:ほぼ達成された 2:やや不足な点がある 1:ほとんど達成されていない)

重点 目標	具体的な方策 (P)	結果と課題 (D)	自己評価 (C)		改善策 (A)	学校関係者評価		
			項目別	総合		評価		コメント
						項目別	総合	
1. 学ぶ意欲 の向上	①個に応じた指導の工夫や観点別評価の研究実施	11月中旬に授業公開週間を設定し、その後、職員研修を実施した。低学力の生徒への指導について各教科に分かれ議論を進めた。	3	3	授業公開については、外部の参加者はあまり見られなかったため、実施形態や案内方法に改善を加える必要がある。	3	3	個性が強く、学習意欲の低い生徒に対して、課題や対策も検討しています。また、きめの細かな指導がなされています。殆どの項目は目標を達成していると考えられます。単位修得率の向上を期待します。
	②受講指導をより確実なものとし、修得率の向上を図る	受講指導を確実なものにするため「来年度の学習に関する説明会」を前に研修会を実施した。修得率については依然改善が見られない。	2		受講指導チェック方法を前年より手厚くしたことで重複ミスが改善された。修得率向上を目指し呼び掛けを継続していく。	2		
	③キャリア教育の充実	ガイダンスや講演会、キャリア教育を実施した。インターンシップには16名が参加した。	3		早期に希望進路先を決定し、就職活動等をするために情報提供や集会を充実させる。	3		
	④資格・検定取得の推進 (商業関係、漢検等)	商業科検定 受験率 81.0%、合格率 54.3%となり前年度より向上した。欠席者集会を実施した。漢字検定は長期欠席者への対応を実施。検定合格率は下がった。	3		授業の工夫・改善を図り、検定の受験率を維持する。上級資格取得への対応をする。(課外・個別指導) 漢字検定は、具体的数値目標を設定する。	3		
	⑤読書の推進	年3回読書週間を実施し、書籍に触れる機会を設けた。図書室内の机や本棚の配置を工夫し、より本に親しめる環境整備に努めた。	3		読書週間中、集団読書用の図書以外の本を読ませる工夫。期間中、曜日毎のクラス輪番で、図書室内で読書をする。	3		
2. コミュニケーション能力の育成	①話し力・書く力 (自己表現力) の育成	図書部では、POP (図書紹介文) コンテストをすることで、自分の好きな本を紹介させ書く力を養った。	3	3	POPを作成するための時間をきちんと設定する。色鉛筆などの材料を貸し出す。面接の練習は、消極的な生徒がいるので進路対策専門員の面談を生かしながら粘り強い指導をしていく。	3	3	就職や進学を見据えた作文技術の取組などが評価されます。
	②就職・進学での面接作文技能の向上	面接担当者を全職員に配置した指導や進路対策専門員による指導を行った。	2		2			
3. 生きる力 と 思いやりのある 優しい 生徒	①学校行事の充実をはかり、集団生活や社会生活におけるマナーの育成	歓迎遠足実施・文化祭のバザー内容変更等、学校行事の充実が図れた。校内での携帯使用マナーや職員室の入退室マナーが十分にできていないのが課題である。	3	3	集団行動や協力という面で、生徒が自発的に関わっていくように指導する。基本は常時指導だが、ポスターなどを作り啓発活動をする。	3	3	卒業文集の記述から、多くの生徒が学校で学んだことに満足し、先生方に感謝している様子がうかがえます。先生方のご指導のお陰で生徒が成長した様子がうかがえます。高い評価をしたいと思います。
	②生徒会活動の充実、主体的に判断して行動できる生徒の育成	高文祭に参加して生徒会役員の意識が変わり、学校行事に積極的に取り組んだ。現在の新役員は、まだ慣れていないこともあり指示待ちのところ課題である。	3		今後は、一つひとつの行事の企画・運営等に携わり体験を積むことで、生徒会役員としての自覚を養いたい。	3		
	③集団生活でのマナー育成	全校集会の指導について、指示を受ける前に集合するなど統一した指導を行ったことで、集会時のマナーは良くなった。返礼等の礼法指導が今後の課題である。	3		担任、グループ所属それぞれの職員が組織的に指導を行う。時間を意識させる指導。礼法についての呼びかけを継続する	3		
	④心身の健康の保持等	健康診断をほぼ100%実施。保健だよりや集会、講演などで指導。家庭との連携、食育などの指導が必要である。文化祭での展示や集会での呼びかけ等を実施。	3		これまでの指導の継続と食生活などの生活習慣の意識向上のための取り組みの強化を進める。	3		
4. PTA活動の活性化を図る	母親委員会活動の活性化を図り、PTAの学校行事への参加を呼びかける。	祭り補導・文化祭・百人一首大会での積極的な参加が見られた。PTA総会の参加率が20%と低い。	3	3	保護者・職員にPTA総会のアンケートを実施して開催日を検討する。保護者間の連絡を密にする	3	3	

平成24年度 延岡青朋高等学校 自己評価(通信制課程) 一

『評価』は4段階の数値で行う。(4:十分達成されている 3:ほぼ達成された 2:やや不安な点がある 1:ほとんど達成されていない)

重点 目標	具体的な方策 (P)	結果と課題 (D)	自己評価		改善策 (A)	学校関係者評価		コメント
			(C)			評価		
			項目別	総合		項目別	総合	
1 学ぶ意欲 の向上	①レポート返送の迅速化	返送システムが確立し、迅速に行っている。	4	3	効率化を目指して更に工夫・改善する。	4	3	現状の分析等を詳細に行い課題や対策を良く検討している。目標を十分に達成していると感じる。
	②添削指導の充実	教科会が充実し、統一した指導が徹底している。	4		解説プリントを充実させる。	4		
	③教科会の充実	充実した協議が行われた。	4		新教育課程に十分に対応して実践する。	4		
	④保護者との連携強化	前より改善されたが多くの保護者との連絡や連携が十分ではない。	2		通信手段の工夫や花想会の充実を図る。	2		
	⑤キャリア教育の充実	全体計画を作成し、ようやくスタートラインに立てた。	2		具体的な研修を実施し、指導に生かす。	2		
2 コミュニケーション能力の育成	①自己表現力の育成	限られた時間の中で、全職員で指導にあたった。	2	2	受験前に必ず事前指導を行う。	2	2	十分な指導時間の確保が課題と考える。
	②面接技能の向上	十分な指導と練習がないまま受験する生徒がいる。	2		指導の時間を確保する工夫を行う。	2		
3 生きる力と 思いやりのあ る優しい生徒 の育成	①自己肯定感の育成	職員の働きかけで、徐々に表現できる生徒が出てきた。	3	3	スクーリングや個別指導等で肯定感を育む。	3	3	より効果的な指導がなされ高く評価する。多くの生徒が先生方に感謝しているのが伺え、高く評価する。
	②基本的な生活習慣の確立	全体的で統一された指導が困難である。	2		個別指導の機会を増やし、自覚を促す。	2		
	③学校行事の充実	地域や関係施設との連携により充実した取組ができた。	4		インクルーシブの考えを浸透させたい。	4		
	④生徒会活動の充実	計画的に継続して活動を行い充実した活動を行った。	4		生徒の自主性が更に尊重される体制作り。	4		
	⑤心身の健康保持増進	意図を確実に伝える手段が不十分である。	3		広報活動の方法や内容を工夫する。	3		